

# S&P 汎アジア債券指数 メソドロジー

2024年2月

この資料は英語で作成された資料の翻訳版です。日本語版と英語版との間で相違がある場合は英語版をご参照ください。英語版は [www.spglobal/spdji.com](http://www.spglobal/spdji.com) に掲載されています。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス: 指数メソドロジー

# 目次

はじめに	3
指数の目的	3
指数ファミリー	3
補足資料	4
適格性基準	5
適格性要素	5
指数の構築	7
指数の計算	7
指数の維持	8
リバランス	8
継続的管理	8
月次キャッシュフローからの再投資リターン	8
計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ	9
基準日と過去のデータ	9
指数ガバナンス	10
指数委員会	10
指数方針	11
公表	11
休日スケジュール	11
リバランス	11
1日の終了時の計算	11
指数の公開	11
再計算の方針	11
お問い合わせ先	11
指数の配信	12
ティッカー	12
指数データ	12
ウェブサイト	12
付属資料	13
メソドロジーの変更	13
S&P Dow Jones Indices 免責事項	14
パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ	14

知的財産権/免責条項	15
ESG 指数の免責事項	17

# はじめに

## 指数の目的

S&P 汎アジア債券指数は、以下の2カ国の現地通貨建て債券ユニバースから構成されており、その2カ国で発行される現地通貨建て債券の時価総額加重パフォーマンスを測定するように設計されています。

- 中国
- インド

## 指数ファミリー

### 国/地域別指数

- S&P 中国債券指数
- S&P BSE インド債券指数

### 主な政府関連債のカテゴリー:

- ソブリン債
- エージェンシー債
- 国債<sup>1</sup>
- 州債

### 社債の主なカテゴリー:

- 金融債
- 公益債
- サービス債
- 産業債

**S&P 中国ソブリン債カレント10年指数:**この指数は1つの証券から成る指数であり、直近に発行された10年物中国国債から構成されています。

---

<sup>1</sup> S&P 短期国債指数に関する情報は、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)に掲載されている S&P グローバル短期国債指数シリーズのメソドロジーを参照して下さい。

## 補足資料

このメソドロジーは、補足資料と併せて読まれるように意図されています。補足資料では、このメソドロジーに記載されている方針、手順、及び計算について、さらに詳細に説明してあります。このメソドロジー全体を通して、特定のテーマに関連する補足資料を紹介していますので、詳細についてはそちらをご覧ください。このメソドロジーで紹介している主な補足資料や、それらの資料のハイパーリンクについては、以下をご覧ください。

補足資料	URL
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Policies & Practices Methodology)	<a href="#">Fixed Income Policies &amp; Practices</a>
S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券指数算出メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Index Mathematics Methodology)	<a href="#">Index Mathematics Methodology</a>

このメソドロジーは、前記にある通り、このメソドロジーにより分類された各々のインデックスのパフォーマンスを測ることを目的として、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが作成しました。このメソドロジーの変更または逸脱は、その目的を達成し続けるために S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが独自の判断においてなされます。

# 適格性基準

## 適格性要素

**通貨:** 証券は、各国の現地通貨建てで発行される必要があります。表 1 を参照下さい。

**償還:** 各債券は、リバランス日から数えて償還が 1 カ月を超える必要があります。指数内で償還を迎える債券はありません。

**発行される国/地域:** 証券は、以下の 2 カ国の内の 1 つで発行される国債または社債である必要があります。

- |      |       |
|------|-------|
| • 中国 | • インド |
|------|-------|

S&P 中国ソブリン債カレント 10 年指数に関して、証券は中国のインターバンク債券市場に上場されている必要があります。

**クーポンの種類:** 以下のクーポンの種類が含まれます。

- 固定クーポン
- ステップアップ・クーポン
- ゼロクーポン
- 当初固定・後変動クーポン

**オプションリティ:** プレット債、コーラブル債、コーラブル永久債（最初の繰上償還日まで少なくとも 1 カ月以上あるもの）は指数に含まれます。当初固定・後変動利付証券も指数に含まれます。ただし、その証券が固定利付の期間中で、変動利付に移行するまで少なくとも 1 カ月以上あるものに限られます。

**除外:** 以下の債券は指数から除外されます。

- ストリップ債
- プッタブル債
- インフレ連動債
- スクーク債
- 変動金利銘柄
- シンカブル債
- 転換社債<sup>2</sup>

<sup>2</sup> 転換可能な債券（偶発転換社債を含む）は指数から除外されます。

**最低名目残高:**以下の表に詳述の通り、債券は最低名目残高及び発行市場の基準を満たす必要があります。  
**表 1**

国/地域	通貨	エージェンシー			
		ソブリン債	債	州債	社債
中国	CNY	100 億	50 億	10 億	10 億
インド	INR	300 億	150 億	150 億	30 億

**決済:**発行されているが、月末のリバランス日までに決済されない債券は指数に含まれます。

**決済:**リバランス基準日までに発行された債券(決済日にかかわらず)。特別の定めがない限り、標準的な指数決済の慣行は同日です(例えば、T+0)。決済慣行にかかわらず、月末が週末に当たる場合、その月に発生した利息はその暦月内に反映されます。月末時点で入手できない利率(例えば、金利がリセットされるため利率が不明の場合)に関して、経過利息は現行利率に基づき、翌月の最初の営業日に調整されます。

**信用格付け:**信用格付けの基準は要求されません。デフォルトとなった債券は次のリバランス時に指数から除外されます。

**プライシング:**入札価格 - LSEG。指定されたプライシング・ソースによってプライシングされない債券は、指数に含めることができません。

# 指数の構築

## 指数の計算

これらの指数は時価総額加重指数です。

トータル・リターンは、支払い済み利子と経過利子によるリターンを反映した金利リターンと、終値と償還元本の差額による損益を反映した価格リターンを合計して計算されます。

指数の計算に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス債券指数算出メソドロジーを参照下さい。

# 指数の維持

## リバランス

指数は定められたスケジュールに従ってレビュー及びリバランスが行われます。ただし、指数委員会は必要に応じて指数を調整する権利を留保するものとします。

リバランスによる指数への採用、指数からの除外、及びその他の変更については、その証券の参考情報が提供され、プライシングについては、リバランス基準日に指定されたプライシング及びデータプロバイダーにより入手可能です。指数への変更は公表日に公開され、リバランス日に有効となります。リバランスに関する情報は営業時間終了後に得られ、公表されます。

リバランス・スケジュール	
リバランスの頻度	毎月
リバランス日	リバランス期間の最終営業日 (T)
公表日	T-3 営業日 (T-3)
基準日	T-4 営業日 (T-4)

\*全ての日は市場終了後を示します。

## 継続的管理

デフォルトの取り扱い、または日々の価格データの不足に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Policies & Practices Methodology) のデフォルトのセクションを参照ください。

## 月次キャッシュフローからの再投資リターン

S&P BSE インド 10 年ソブリン債指数を除いて、利払いや元本返済を含む全ての現金は、次のリバランス日までの間現金で保管されます。S&P BSE インド 10 年ソブリン債指数については、クーポンはクーポン支払日に同指数に再投資されます。

## 計算に用いる通貨、及び追加の指数リターン・シリーズ

国別指数は現地通貨で計算されます。

指数における追加の通貨及び通貨ヘッジ・バージョンや、償還、セクター、及び格付けに基づくサブ指数も利用可能な場合があります。利用可能なサブ指数及びティッカーのリストについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)で入手可能な S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス債券指数ディレクトリー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Index Directory) を参照下さい。

指数算出に関する詳細情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス債券指数算出メソッドロジーを参照下さい。

特定の指数タイプ(減衰指数、ダイナミック・ヘッジ指数、公正価値指数、及びリスク・コントロール指数など)を計算するために必要なインプットについては、[www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)で入手可能なパラメータ資料を参照ください。

## 基準日と過去のデータ

指数の過去のデータや基準日、基準価額は下表の通りです。

指数	ローンチ日	計算開始日	基準日	基準価額
<b>中国:</b>				
S&P 中国債券指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国国債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国ソブリン債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国エージェンシー債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国州債指数	03/12/2014	11/30/2011	02/28/2014	100
S&P 中国社債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国金融債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国サービス債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国公益債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国産業債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P 中国ソブリン債カレント 10 年指数	02/11/2019	12/29/2006	12/29/2006	100
<b>インド:</b>				
S&P BSE インド債券指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド国債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド・ソブリン債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド・エージェンシー債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド州債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド社債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド金融債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド・サービス債指数	03/12/2014	05/31/2007	02/28/2014	100
S&P BSE インド公益債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100
S&P BSE インド産業債指数	03/12/2014	12/29/2006	02/28/2014	100

# 指数ガバナンス

## 指数委員会

指数委員会が指数を維持しています。委員会の全てのメンバーは S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのスタッフであり、常勤のプロフェッショナル・メンバーとなっています。会議は定期的に行われます。

委員会は指数の日々の管理を監視しています。具体的には、月々のリバランスや、リバランス間における指数の変更、維持・採用方針（債券銘柄の採用または除外）、指数の維持・計算に影響するその他の事柄などを担当しています。

指数委員会はこれらの責任を果たす上で、(i)状況に応じて指数のルールや方針の修正、適用、または適用の免除を行うこと、(ii)指数の構成を決定する上で、債券銘柄を採用・除外、または避けることについて、完全な裁量権を有しています。

指数委員会は、委員会に提出された情報や資料、あるいは委員会が集めた情報や資料が正確であると考えられる場合、それらに依拠することがあります。委員会は、独自の裁量により、公に入手可能な情報を再解釈し、そうした情報の新たな解釈に基づいて指数に変更を加える権利を留保するものとします。指数委員会の協議内容は全て非公開となります。

指数委員会は、S&P グローバルのその他の分析グループから分離・独立しています。特に、指数委員会は、S&P グローバル・レーティングのアナリストによる判断を利用すること、またはその判断に影響を及ぼすことはありません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数委員会は、必要があれば、メソドロジーを適用する際に例外を設ける権利を留保します。本資料や補足資料に記載されている一般的なルールと異なる取り扱いを行う場合、お客様は可能なときはいつでも事前に通知を受けます。

日々の指数のガバナンスや指数メソドロジーの維持に加え、指数委員会は 12 ヶ月間に少なくとも 1 回、メソドロジーのレビューを行います。これにより、指数が所定の目的目標を引き続き達成し、データやメソドロジーが有効であることを確認します。場合によっては、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは相談を実施し、外部当事者からの意見を聴取することがあります。

メソドロジーの品質管理及び内部での見直しに関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券の方針及び実務メソドロジー (*S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Policies & Practices Methodology*) を参照ください。

# 指数方針

## 公表

これらの指数に関する情報は、営業時間終了後に公表されます。プレスリリースは、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/)に掲載されます。

## 休日スケジュール

これらの指数は年間を通して毎日計算されます(ただし、元日(1月1日)を除く)。

## リバランス

指数委員会は予定されているリバランス日、またはその前後に生じる市場休日などを理由に所定のリバランス日を変更する場合があります。可能な場合、かかる変更は全て適切な事前通知を以て公表されます。

## 1日の終了時の計算

指数水準は、各営業日の終了時に計算され、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイトに掲載されます。これについては変更される場合があります。

## 指数の公開

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは営業日の終了時に指数を公開します。

## 再計算の方針

再計算の方針に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Policies & Practices Methodology)を参照ください。

*計算ならびにプライシング障害、専門家の判断、データの階層に関する詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの債券の方針及び実務メソドロジー (S&P Dow Jones Indices' Fixed Income Policies & Practices Methodology)を参照ください。*

## お問い合わせ先

指数に関するご質問については、[index\\_services@spglobal.com](mailto:index_services@spglobal.com)にお問い合わせください。

# 指数の配信

指数水準については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) や、主要な情報ベンダー（以下のコードを参照ください）、投資関連のウェブサイト、活字及び電子メディアなどをご覧ください。

## ティッカー

以下の表では、この資料でカバーしているヘッドライン指数についてまとめています。以下の指数の全てのバージョンも、本資料でカバーしています。本資料でカバーしている指数の完全なリストについては、[S&P DJI メソドロジーおよび規制状況データベース](#)を参照ください。

指数(トータル・リターン指数)	ティッカー
<b>中国:</b>	
S&P 中国債券指数	SPBCNCOT
S&P 中国国債指数	SPBCNGOT
S&P 中国ソブリン債指数	SPBCNSOT
S&P 中国エージェンシー債指数	SPBCNAGT
S&P 中国州債指数	SPBCNGPT
S&P 中国社債指数	SPBCNCPT
S&P 中国金融債指数	SPBCNCFT
S&P 中国サービス債指数	SPBCNCST
S&P 中国公益債指数	SPBCNCUT
S&P 中国産業債指数	SPBCNCIT
S&P 中国ソブリン債カレント 10 年指数	SPBCN1BT
<b>インド:</b>	
S&P BSE インド債券指数	SPBINCOT
S&P BSE インド国債指数	SPBINGOT
S&P BSE インド・ソブリン債指数	SPBINSOT
S&P BSE インド・エージェンシー債指数	SPBINAGT
S&P BSE インド州債指数	SPBINGPT
S&P BSE インド社債指数	SPBINCPT
S&P BSE インド金融債指数	SPBINCFT
S&P BSE インド・サービス債指数	SPBINCST
S&P BSE インド公益債指数	SPBINCUT
S&P BSE インド産業債指数	SPBINCIT

## 指数データ

日々の指数レベルのデータについては、申し込みにより取得可能です。

商品情報については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト内「お問い合わせ」  
[www.spglobal.com/spdji/en/contact-us](http://www.spglobal.com/spdji/en/contact-us) よりお問い合わせください。

## ウェブサイト

詳細については、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスのウェブサイト [www.spglobal.com/spdji/](http://www.spglobal.com/spdji/) を参照ください。

# 付属資料

## メソドロジーの変更

2015年1月1日以降のメソドロジーの変更は以下の通りです。

変更	メソドロジー		
	有効日 (取引終了後)	以前	アップデート
偶発転換社債	2020年9月30日	—	偶発転換社債は指数から除外されます。
指数の適格性目的のために、発行済み額面残高から政府の保有を除外	2019年12月31日	ソブリン債の発行済み額面残高を決定する上で、政府の保有を含みます。	ソブリン債の発行済み額面残高を決定する上で、政府の保有を除外します。
適格債券	2019年8月30日	シンカブル債は指数に含まれます。	シンカブル債は指数から除外されます。

# S&P Dow Jones Indices 免責事項

## パフォーマンスに関する情報開示/バックテストされたデータ

S&P Dow Jones Indicesは、透明性を提供することにより顧客を支援するために、様々な日付を定義しています。初回評価日は、所定の指数の(現実またはバックテストの)計算値が存在する最初の日です。基準日とは、所定の指数が計算のために固定値で設定されている日付を指します。ローンチ日とは、所定の指数の価値が最初に現実と見なされる日付を指します。指数のローンチ日より前の任意の日付または期間に提供された指数値は、バックテストされたものと見なされます。S&P Dow Jones Indicesでは、ローンチ日につき、例えばS&P Dow Jones Indicesの公開ウェブサイトまたは外部当事者に対するそのデータフィードを介して、指数の価値が一般公表されたことが知られる日付と定義しています。2013年5月31日より前に導入されたDow Jonesブランドの指数については、ローンチ日(2013年5月31日より前は「導入日」と呼ばれていた)は、指数の一般公表日より前には認められていた可能性があるものの、指数メソドロジーに対するそれ以上の変更が認められなくなった日に設定されています。

指数のリバランスの方法とタイミング、追加および削除の基準、ならびにすべての指数計算など、指数の詳細については、当該指数のメソドロジーを参照してください。

指数のローンチ日より前に提示された情報はすべて、仮説に基づく(バックテストされた)ものであって、実際のパフォーマンスではありません。バックテスト計算は、指数のローンチ日に有効だったメソドロジーと同じ方法に基づいています。ただし、市場が異常を示した期間など、全体的な最新市場環境を反映していない期間を対象に、バックテストされた履歴を作成する場合には、十分に大きな同じ性質の証券を把握するために、指数メソドロジールールを緩和してもかまいません。それにより、その指数で測定することを意図した対象市場、またはその指数で把握することを意図した戦略のシミュレーションを行うことができます。例えば、市場時価総額と流動性の限界を引き下げることができます。さらに、S&P 暗号通貨指数のバックテスト・データに関しては、フォーク(ブロックチェーンの分岐)の影響が考慮されていません。S&P 暗号通貨トップ5イコール・ウェイト指数およびS&P 暗号通貨トップ10イコール・ウェイト指数については、メソドロジーのカストディ要素が考慮されておらず、バックテストの過去履歴は、ローンチ日時点においてカストディ要素の要件を満たす指数構成銘柄に基づいています。また、指数管理の決定を正確に複製することは困難であるため、バックテストされたパフォーマンスにおけるコーポレート・アクションの取り扱い、実在する指数に対するコーポレート・アクションの取り扱いと異なる場合があります。バックテストされたパフォーマンスは、指数のメソドロジーに加えて、事後的な情報やパフォーマンスにより影響を与えた可能性がある要因についての知識に基づく構成銘柄の選定を反映したものであり、結果に影響を及ぼしうるすべての財務リスクを考慮したものではなく、生存者バイアス/先読みバイアスが含まれていると見なすことも可能です。実際のリターンは、バックテストされたリターンとは大きく異なり、これよりも少ないものとなる場合があります。過去のパフォーマンスは将来の成績を示唆または保証するものではありません。

一般にS&P DJIでは、バックテストされた指数データを作成する際に、構成銘柄の実際の過去データ(過去の株価、時価総額、および企業活動に関するデータ等)を使用します。ESG投資はまだ開発の初期段階にあるため、S&P DJIのESG指数を作成するために使用される一部のデータポイントは、過去のデータをバックテストしたい対象期間全体にわたり入手できない場合があります。データの利用可能性に関するこの問題は、他の指数にも当てはまります。対象となるすべての過去の期間に対して実際のデータが入手できない場合、S&P DJIでは、ESGデータの「バックワード・データ・アサンプション」(または、引き戻し)と呼ばれるプロセスを通じて、バックテストされた過去のパフォーマンスを算定する場合があります。「バックワード・データ・アサンプション」とは、当該指数の構成銘柄につき、指数のパフォーマンスを算定するために用いる過去のデータすべてに、入手可能な実際のデータポイントのうち最も過去のものを用いるプロセスを指します。例えばバックワード・データ・アサンプションでは、その前提として、特定の業務活動(「製品関与」と呼ぶ場合もある)を現在行っていない企業は過去においてもかかる業務活動を行ったことがないと想定し、同様に、現在特定の業務活動を行っている企業は過去においてもか

かかる活動を行っていたと想定します。バックワード・データ・アサンプションは、実際のデータのみを使用する場合よりも長期にわたる過去の期間を対象として、仮説的なバックテストを可能にするものです。「バックワード・データ・アサンプション」について詳しく知りたい場合は、FAQをご覧ください。バックテストされた過去のパフォーマンスにつき、バックワード・データ・アサンプションを採用している指数では、そのメソドロジーおよびファクトシートにおいてその旨を明記します。かかるメソドロジーには、遡及的にデータが適用された箇所における具体的なデータポイントおよび当該の時期を示す表が記載された別紙が含まれます。

表示される指数の収益率は、投資資産/証券の実際の取引結果を表しません。S&P Dow Jones Indicesは、指数を維持し、提示または議論された指数のレベルとパフォーマンスを算出しますが、実際の資産を管理してはいません。指数の収益率は、指数のパフォーマンスを追跡するよう意図された、指数または投資ファンドの基礎となる、投資家が証券を購入するために支払う販売手数料や料金の支払いを反映していません。これらの料金や手数料が課されることで、証券/ファンドの実際およびバックテストのパフォーマンスは、提示される指数パフォーマンスよりも低くなる可能性があります。簡単な例としては、10万米ドルの投資に指数が12ヶ月間に10%の収益率（つまり1万米ドル）を上げ、投資に経過利息を加えた金額に1.5%の実際の資産ベースの手数料（つまり1,650米ドル）が課されると、1年間の純収益率は8.35%（つまり8,350米ドル）になります。3年間にわたり、年10%の収益率で、年末に年1.5%の手数料を徴収されると想定すると、結果的に累積総収益率は33.10%、合計手数料は5,375米ドル、および累積純収益率は27.2%（つまり2万7,200米ドル）になります。

### 知的財産権/免責条項

© 2024 S&P Dow Jones Indices. 無断複写・転載を禁じます。S&P、S&P 500、SPX、SPY、The 500、US 500、US 30、S&P 100、S&P COMPOSITE 1500、S&P 400、S&P MIDCAP 400、S&P 600、S&P SMALLCAP 600、S&P GIVI、GLOBAL TITANS、DIVIDEND ARISTOCRATS、Select Sector、S&P MAESTRO、S&P PRISM、S&P STRIDE、GICS、SPIVA、SPDR、INDEXOLOGY、iTraxx、iBoxx、ABX、ADBI、CDX、CMBX、MBX、MCDX、PRIMEX、HHPI、および SOVX は、S&P Global, Inc. (以下、「S&P Global」という) またはその関係会社の登録商標です。DOW JONES、DJIA、THE DOW、および DOW JONES INDUSTRIAL AVERAGE は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の商標です。これらの商標は、その他と一緒に S&P Dow Jones Indices LLC にライセンス供与されています。再配布または複製は、全部か一部かを問わず、S&P Dow Jones Indices LLC の書面による許可がない限り禁止されています。本文書は、S&P DJI が必要なライセンスを持たない法域でサービスを提供するものではありません。特定のカスタム指数計算サービスを除き、S&P DJI が提供するすべての情報は個人とは無関係なものであり、いかなる個人、事業体または団体のニーズに合わせて調整されたものではありません。S&P DJI は、第三者にその指数をライセンス供与すること、およびカスタム計算サービスを提供することに関連して報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは、将来の成績を示唆または保証するものでもありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表す資産クラスへのエクスポージャーは、その指数に基づく投資可能な商品を通して利用できる場合があります。S&P DJI は、第三者が提供する、また指数のパフォーマンスに基づく投資収益を提供しようとするいかなる投資ファンドまたはその他の投資手段についても、スポンサー、保証、販売、販売促進または管理を行いません。S&P DJI は、指数に基づく投資商品が、指数のパフォーマンスを正確に追跡する、またはプラスの投資収益率を提供することを保証しません。S&P DJI は投資顧問会社、商品投資顧問業者、受託者、「プロモーター」(1940年投資会社法(改訂)において定義されている)、または「エキスパート」(合衆国法典第15編第77条(15 U.S.C. § 77k)内に列挙されている)ではなく、また S&P DJI はかかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資の妥当性に関して一切表明することはありません。かかる投資ファンドまたはその他の投資手段への投資決定は、本文書に記載される意見に頼って行われるべきではありません。S&P DJI は税金の顧問会社ではありません。指数に証券が含まれることは、S&P DJI がかかる証券、コモディティ、暗号通貨、またはその他の資産の売り、買い、またはホルドの推奨を意味するものではなく、投資または取引のアドバイスとして見なしてはなりません。

これらの資料は、一般的に公衆が利用可能な信頼できると確信される情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されています。これらの資料に記載される内容(指数データ、格付け、信用関連の分析やデータ、リサーチ、評価、モデル、ソフトウェアやその他のアプリケーションまたはそれからのアウトプット)またはそのいかなる部分

(「内容」)も、S&P DJIIによる事前の書面による承認なく、いかなる形式やいかなる手段によっても、改変、リバースエンジニアリング、複製または配布、もしくはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容は、違法または未許可の目的で使用してはなりません。S&P DJIおよびその第三者データプロバイダーならびにライセンサー(総称して「S&P Dow Jones Indices当事者」)は、内容の正確性、完全性、適時性または利用可能性について保証しません。S&P Dow Jones Indices当事者は、理由に関係なく、内容の利用から得られた結果について、いかなる過誤または遺漏に対しても責任を負いません。内容は、「現状有姿」で提供されています。S&P DOW JONES INDICES当事者は、商品性または特定目的や利用への適合性、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、もしくは内容がいかなるソフトウェアやハードウェア構成によっても動作することを含むがこれに限定されない、あらゆる明示または黙示の保証も否認します。S&P Dow Jones Indices当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連する、いかなる直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、懲戒的、特別または派生的な損害、費用、経費、法的費用、または損失に対しても(逸失収入または逸失利益、および機会費用を含むがそれに限定されない)、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

信用関連の情報、および格付け、リサーチおよび評価を含むその他の分析は、一般に、ライセンサーおよび/または S&P Global Market Intelligence といった S&P Global のその他の部門を含むがこれに限定されない、S&P Dow Jones Indices の関連会社によって提供されています。信用関連の情報ならびに内容の中のその他の関連分析および発言は、表明された日時点での意見の記述であり、事実を記述したものではありません。いかなる意見、分析および格付承認決定も、証券を購入、保有または売却するため、または投資決定を行うための推奨ではなく、いかなる証券の適合性について言及するものではありません。S&P Dow Jones Indices は、いかなる形態または形式でも、公表後に内容を更新する義務を負いません。投資またはその他のビジネス上の決定を行う際に、内容に頼るべきではなく、また利用者、その経営陣、従業員、顧問および/または顧客のスキル、判断および経験またそれらの代わりとなるものでもありません。S&P Dow Jones Indices LLC は、受託者または投資顧問会社としては行動しません。S&P Dow Jones Indices は、信頼できると確信する情報源から情報を取得するものの、S&P Dow Jones Indices は、受領する情報の監査を行ったり、デューデリジェンスや独立した検証の義務を負ったりしません。S&P DJI は、規制またはその他の理由により、いつでも指数を変更または中止する権利を留保します。様々な要因(S&P DJI が管理できない外部要因を含む)により、指数の大幅な変更が必要となる場合があります。

規制機関が格付機関に対して、特定の規制目的で別の法域で発行された格付けをある法域で承認することを認める範囲で、S&P Global Ratings は、いつでもその単独の判断で、かかる承認を割当、撤回または停止する権利を留保します。S&P Dow Jones Indices は、S&P Global Ratings を含め、承認の割当、撤回または停止から生じるいかなる義務も、またその理由で被ったと主張されるいかなる損害の賠償責任も否認します。S&P Dow Jones Indices LLC の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その格付けおよび特定の信用関連の分析に対して、通常は発行体または証券の引受会社もしくは債務者から報酬を受ける場合があります。かかる S&P Dow Jones Indices の関連会社は、S&P Global Ratings を含め、その意見および分析を普及させる権利を留保します。S&P Global Ratings からの公開格付けおよび分析は、そのウェブサイト、[www.standardandpoors.com](http://www.standardandpoors.com) (無料)および [www.ratingsdirect.com](http://www.ratingsdirect.com) と [www.globalcreditportal.com](http://www.globalcreditportal.com) (購読)で利用でき、S&P Global Ratings の出版物および第三者再配布業者を通じた場合を含め、その他の方法で配布される場合があります。当社の格付け料金についての追加の情報は、[www.standardandpoors.com/usratingsfees](http://www.standardandpoors.com/usratingsfees) から入手できます。

S&P Global は、その様々な部門および事業部の特定の活動を、それらの各活動の独立性と客観性を守るために相互に分離しています。その結果、S&P Global の特定の部門および事業部が、他の事業部では利用できない情報を保有している場合があります。S&P Global は、各分析プロセスに関連して受け取った特定の非公開情報の秘密性を保持するために、方針および手順を確立しています。

さらに、S&P Dow Jones Indicesは、証券の発行体、投資顧問、ブローカーディーラー、投資銀行、その他の金融機関および金融仲介機関を含む多くの組織に対して、またはそれらに関連して、広範なサービスを提供しており、従って、推薦、格付け、モデルポートフォリオへ組み入れ、評価または別途言及する必要がある証券やサービスの組織を含め、それらの組織から手数料またはその他の経済的利益を受ける場合があります。

一部の指数では世界産業分類基準(GICS®)を使用しています。これは、S&P GlobalとMSCIIによって作成され、同二社の独占的財産かつ商標です。MSCI、S&P DJI、およびGICS分類の作成または編纂に関与したその他の当事者のいずれも、かかる基準または分類(またはそれを利用することで得られる結果)に関して、いかなる明示

的または黙示的な保証または保証も行わず、かかる当事者はすべて、かかる基準または分類に関して、独自性、正確性、完全性、商品性または特定目的への適合性のすべての保証を本書により明示的に否認します。前述の内容に制限を加えることなく、いかなる場合でも、MSCI、S&P DJI、その関連会社またはGICS分類の作成または編纂に関わるいかなる第三者も、いかなる直接的、間接的、特別、懲戒的、派生的、またはその他の損害(逸失利益を含む)について、たとえかかる損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

S&P Dow Jones Indicesの商品は、それらの商品が提供される契約の条件により管理されています。S&P Dow Jones Indices及び(または)指数データを使用する、これに基づいている、及び(または)これを参照する商品あるいはサービスを表示する、そこから派生するデリバティブ商品を組成する、及び(または)配布するには、S&P Dow Jones Indicesからライセンスを取得する必要があります。

## ESG 指数の免責事項

S&P DJIは、特定の環境・社会・ガバナンス(ESG)指標、または以下のような指標の組み合わせに基づいて(ただし、これらに限定されない)、指数構成銘柄の選択、除外、及び(または)ウェイト設定を行います:環境指標(天然資源の効率的利用、廃棄物の生産、温室効果ガス排出量、または生物多様性への影響など)、社会指標(不平等及び人材投資など)、ガバナンス指標(健全な経営陣の構成、従業員との関係、従業員の報酬、税務コンプライアンス、人権尊重、汚職防止、及び贈賄防止など)、特定の持続可能性または価値観に関連する企業の関与指標(例えば、非人道的兵器、タバコ製品、燃料炭の製造/販売など)、または論争的となる問題のモニタリング(ESG関連事件に関与する企業を特定するための報道機関のリサーチを含む)。

S&P DJIのESG指数では、指数構成銘柄の選択及び(または)ウェイト付けにおいてESG指標やESGスコアを使用しています。ESGスコアまたは格付けでは、環境、社会、及びコーポレート・ガバナンスの問題に関する企業あるいは資産のパフォーマンスを測定・評価することに努めています。

S&P DJIのESG指数で使用されるESGスコア、格付け、及びその他のデータは、サードパーティにより直接的または間接的に提供されています(これらのサードパーティは、S&P グローバルの独立した関連会社である場合もあれば、無関係の事業体である場合もある)。したがって、S&P DJIのESG指数がESG要因を反映できるかどうかについては、これらのサードパーティが提供するデータの正確性や入手可能性に左右されます。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、報告される(つまり、データが企業または資産により開示されたものとして提供されている、または公に入手可能なものとして提供されている)、モデル化される(つまり、データがプロキシのみを使用して作成され、独自のモデル化プロセスを使用して導き出されている)、または報告・モデル化される(つまり、データが報告されたデータとモデル化されたデータの組み合わせであるか、または独自のスコアリングや決定プロセスにおいて報告されたデータ/情報を使用してベンダーから導き出されるかのいずれかである)場合があります。

ESGスコア、格付け、及びその他のデータは、外部及び(または)内部の情報源から提供されるかを問わず、定性的評価及び判断的评价に基づいています。特に、明確に定義された市場基準が存在しない場合には、独自の判断を行う必要があります。これは、ESG要因や検討事項を評価する上で複数のアプローチやメソッドロジーが存在するためです。したがって、ESGスコア、格付け、またはその他のデータには、主観的な要素や裁量的な要素が含まれています。ESGスコアリング、格付け、及びデータソースが異なれば、ESGの評価手法や推定メソッドロジーも異なる場合があります。また、特定の企業、資産、または指数の持続可能性やインパクト(社会・環境への影響)に関しては、関与する人(ESGデータの格付けプロバイダーまたはスコアリングのプロバイダー、指数のアドミニストレーター、あるいはユーザーを含む)が異なれば、最終的な結論も異なる場合があります。

指数が、サードパーティにより直接的または間接的に提供されるESGスコア、格付け、またはその他のデータを使用している場合、S&P DJIは当該ESGスコア、格付け、またはデータの完全性や正確性について責任を負いません。「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びそ

の他のインパクト」、または同等に分類されるその他の目的を決定するための単一の明確かつ決定的なテストや枠組み(法的、規制的、またはその他)は存在しません。明確に定義された市場基準がない場合、または数多くのアプローチが存在することにより、独自の判断を行う必要があります。したがって、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的に関して、関与する人が異なれば、同じ投資、商品、及び戦略について異なる分類が行われる場合があります。さらに、新たな規制及び業界の規則やガイダンスが発行され、ESGサステナブル・ファイナンスの枠組みがアップデートされている中で、「ESG」、「サステナブル」、「グッドガバナンス」、「有害ではない環境的インパクト、社会的インパクト、及びその他のインパクト」、あるいは同等に分類されるその他の目的を構成するものに関する法的及び(または)市場の見解は、時間の経過とともに変化する可能性があります。

S&P DJIのESG指数のユーザーは、指数メソドロジーや開示情報を注意深く読み、その指数が使用事例や投資目的に合致しているかどうかを判断することが推奨されます。